

# 令和6年度 学校評価アンケート集計結果 令和7年3月

刈谷市立亀城小学校

A あてはまる B どちらかといえば、あてはまる C どちらかといえば、あてはまらない  
D あてはまらない E わからない

【児】…児童《回答数：659名》【保】…保護者《回答数：607名》【職】…職員《回答数：37名》

児童、保護者、教職員の三者に13項目について、ほぼ共通の内容でアンケートを行った。それを児童、保護者、教職員で表とグラフにした。グラフは総数を分母として、A～Eのそれぞれの割合を%で示した。

児童の集計結果を見てみると、ほとんどの項目で(A+B)が、80%を超えており、落ち着いた環境で、児童は、意欲的に生活できていると考える。しかし、「教師によるよいところの認知」(72.7%)、「困ったときに相談しやすい先生がいるか」(72.5%)については、さらに、児童の支援を工夫していく必要がある。

保護者の結果では、「確かな学力の育成」(74.4%)「児童の規則正しい生活習慣」(69.5%)、「あいさつ、返事、丁寧な言葉遣い」(74.5%)、「相談にのってくれる職員がいるか」(76.8%)をのぞき、(A+B)が80%を超えていた。保護者は、概ね好意的に学校を評価していると考えられる。「あいさつ、返事、丁寧な言葉遣い」については、児童は81.2%に対し、保護者は74.5%という結果であった。児童については、児童会等のあいさつ運動等の取組の成果であると思われるが、地域、家庭でのあいさつ、言葉遣い等を今後の課題としたい。

「教師によるよいところの認知」「安全・安心な学校づくり」については、保護者の(A+B)が85%を超えており、肯定的な意見が多くあった。さらに、子どもの話をよく聴き、肯定的に捉える教職員集団、安心・安全な学校づくりを進めていきたい。

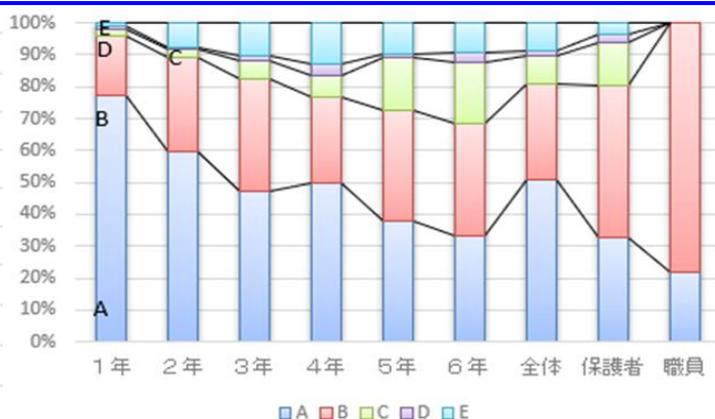
教職員は、すべての項目において(A+B)は100%で、学習指導や心の育成、安全指導、清掃指導等に努力していると考えている。さらに、一人一人の子どもに目を向け、地域社会にはばたけるよう意識して指導を工夫したい。

この学校評価アンケートを来年度以降の学校改善につなげ、引き続き子どもたちの健やかな成長(自己肯定感と確かな学力・豊かな心・たくましく健康な体)に、そして保護者・地域からの信頼に応える学校づくりに活用していくことが重要だと考える。各項目の結果について、以下に詳しく示す。

## 1 自己肯定感・確かな学力の育成 【向 上・協 同】

- ① 【児】自分にはよいところがあると思いますか。  
【保】お子さんは、自分のよさを自覚していると思いますか。  
【職】児童は自分のよさを自覚していると思いますか。

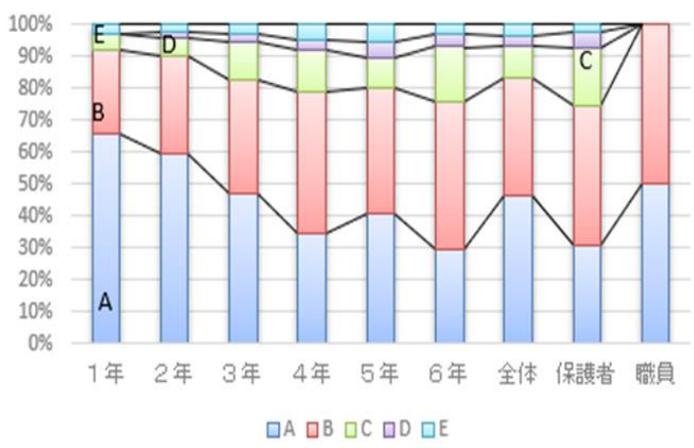
1	A	B	C	D	E	
1年	77.5%	18.6%	2.0%	1.0%	1.0%	100.0%
2年	59.5%	29.8%	2.5%	0.8%	7.4%	100.0%
3年	47.2%	35.2%	5.6%	1.9%	10.2%	100.0%
4年	50.0%	26.9%	6.5%	3.7%	13.0%	100.0%
5年	38.0%	34.7%	16.5%	0.8%	9.9%	100.0%
6年	33.3%	35.4%	19.2%	3.0%	9.1%	100.0%
全体	50.8%	30.2%	8.6%	1.8%	8.5%	100.0%
保護者	32.9%	47.6%	13.3%	2.3%	3.8%	100.0%
職員	21.6%	78.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「自己肯定感をもっている(A+B)」が児童全体は約81.0%、保護者は約80.5%で、子どもたちの多くは自己肯定感をもっていると感じている。しかし、高学年になるに従って視野が広がり、自分や他者を客観視できるようになり、数値が下がる傾向が見られた。すべての子どもたちが、それぞれ個々に異なるよさがあることを大切に、教職員が様々な場面で子どもたちの活動を認め、児童の自己肯定感・自己有用感を育む指導に自信をもって取り組めるようにしていきたい。

② 【児】学習にやる気をもって楽しく取り組んでいますか。  
 【保】お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいると感じますか。  
 【職】学習意欲を引き出す手だてや工夫をしていますか。

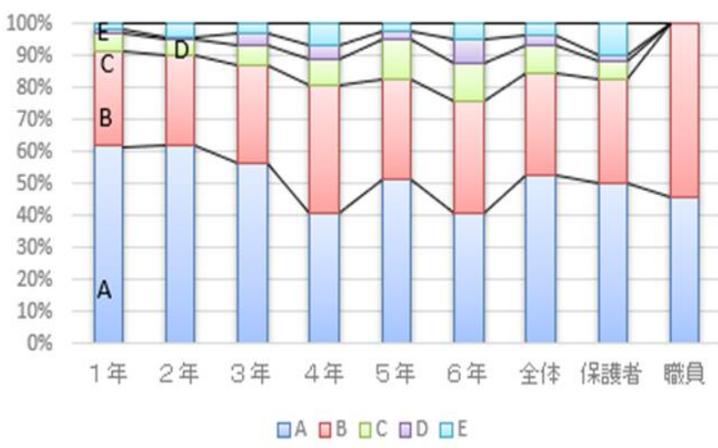
2	A	B	C	D	E	
1年	65.7%	26.5%	4.9%	0.0%	2.9%	100.0%
2年	59.5%	30.6%	5.8%	1.7%	2.5%	100.0%
3年	47.2%	35.2%	12.0%	2.8%	2.8%	100.0%
4年	34.3%	44.4%	13.0%	3.7%	4.6%	100.0%
5年	40.5%	39.7%	9.1%	5.0%	5.8%	100.0%
6年	29.3%	46.5%	17.2%	4.0%	3.0%	100.0%
全体	46.3%	37.0%	10.2%	2.9%	3.6%	100.0%
保護者	30.6%	43.8%	18.0%	5.4%	2.1%	100.0%
職員	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「やる気をもって楽しく取り組んでいる (A+B)」児童は83.3%で、昨年度とほぼ同じ結果となり、子どもたちは意欲的に学習していると感じている。教職員は、100%で、全ての職員が学習意欲を引き出す努力ができていていると考えている。コロナ禍が終わり、以前の学校生活を取り戻す中、落ち着いて学習する環境を取り戻す事ができた結果と思われる。「学習に意欲的に取り組んでいると感じる」保護者は74.4%であるが、「学習に意欲的に取り組んでいない (C+D)」保護者が23.4%いる。また、「やる気をもって楽しく取り組んでいない」子どもも約13.1%いる。これらの子どもの学習意欲を向上させるために、学ぶ楽しさを感じる授業づくりの工夫が課題である。

③ 【児】学校の授業の内容がよく分かりますか。  
 【保】先生はわかりやすい授業となるように努めていると思いますか。  
 【職】わかりやすい授業を工夫していますか。

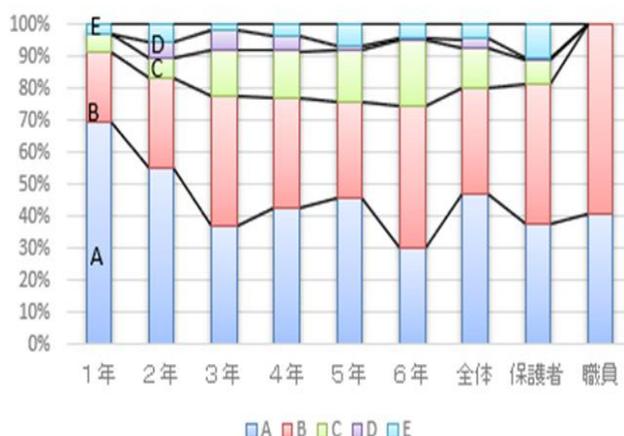
3	A	B	C	D	E	
1年	61.8%	29.4%	5.9%	1.0%	2.0%	100.0%
2年	62.0%	28.1%	5.0%	0.8%	4.1%	100.0%
3年	56.5%	30.6%	6.5%	3.7%	2.8%	100.0%
4年	40.7%	39.8%	8.3%	4.6%	6.5%	100.0%
5年	51.2%	31.4%	12.4%	2.5%	2.5%	100.0%
6年	40.4%	35.4%	12.1%	7.1%	5.1%	100.0%
全体	52.4%	32.3%	8.3%	3.2%	3.8%	100.0%
保護者	50.1%	32.6%	5.6%	1.6%	10.0%	100.0%
職員	45.9%	54.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「授業内容が分かる (A+B)」児童は84.7%、保護者は82.7%であり、ともに昨年度のアンケート結果をわずかに下回った。高学年になるにつれ、「授業の内容がよく分かる」児童が、若干少なくなるが、自主勉強や宿題にしっかりと取り組み、努力している様子が見られる。教職員は、100%が学習課題、発問、学習内容などわかりやすい授業づくりの工夫に取り組んでいると回答している。学年の実態に応じた指導方法を工夫し、全教職員が共通意識をもって、楽しく、よく分かる授業づくりにさらに力を入れて取り組んでいきたい。

- ④ 【児】 友達の発言をよく聴いたり自分の考えを発言したりして、話し合いに参加していますか。  
 【保】 話し合いやかかわり合いを通して、学び合いが見られると感じますか。  
 【職】 話し合いやかかわり合いを通して、考えを広めたり深めたりする学び合いを重視していますか。

4	A	B	C	D	E	
1年	69.6%	21.6%	5.9%	0.0%	2.9%	100.0%
2年	55.4%	28.1%	5.8%	5.0%	5.8%	100.0%
3年	37.0%	40.7%	13.9%	6.5%	1.9%	100.0%
4年	42.6%	34.3%	14.8%	4.6%	3.7%	100.0%
5年	45.5%	30.6%	15.7%	1.7%	6.6%	100.0%
6年	30.3%	44.4%	20.2%	1.0%	4.0%	100.0%
全体	46.9%	33.1%	12.6%	3.2%	4.2%	100.0%
保護者	37.6%	43.8%	7.7%	0.7%	10.2%	100.0%
職員	40.5%	59.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

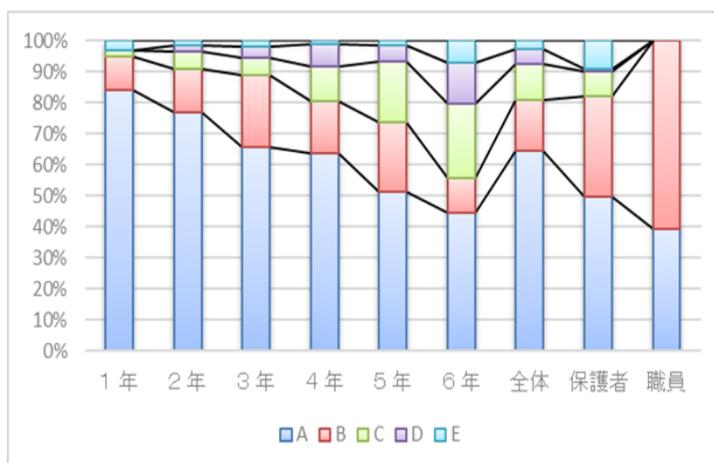


「話し合いの授業に参加している」児童が80.0%、「学び合いが見られる」と回答した保護者は、81.4%であった。教職員は、100%がかかわり合い、学び合う学習を重視して授業に取り組んできたと答えてた。学びの主体である子どもたち自身が、「話し合って学ぶことが楽しい」「自分の意見を聞いてほしい」「友達の考えを聞いてみたい」と思うことのできる授業づくりを、さらに進めていきたい。

## 2 たくましく健康な体力の育成 【向 上】

- ⑤ 【児】 体育の授業や長放課に外遊びをするなど、進んで体を動かし、体力を高めようとしていますか。  
 【保】 先生は、体育の授業や長放課など、体を動かす機会を確保し、体力を高めようとしていますか。  
 【職】 体育の授業や長放課に外遊びをするなど、進んで体を動かし、体力を高める機会の確保に努めていますか。

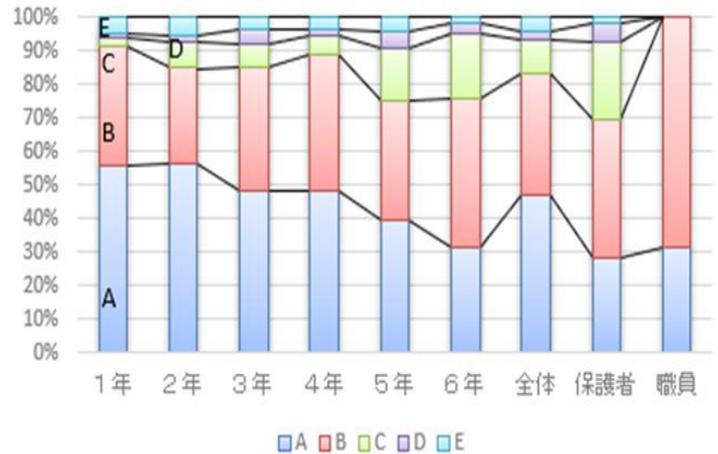
5	A	B	C	D	E	
1年	84.3%	10.8%	2.0%	0.0%	2.9%	100.0%
2年	76.9%	14.0%	5.8%	1.7%	1.7%	100.0%
3年	65.7%	23.1%	5.6%	3.7%	1.9%	100.0%
4年	63.9%	16.7%	11.1%	7.4%	0.9%	100.0%
5年	51.2%	22.3%	19.8%	5.0%	1.7%	100.0%
6年	44.4%	11.1%	24.2%	13.1%	7.1%	100.0%
全体	64.5%	16.5%	11.4%	5.0%	2.6%	100.0%
保護者	49.8%	32.3%	7.9%	1.2%	8.9%	100.0%
職員	39.3%	60.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「たくましく健康な体力の育成」については、「できている」と答えた児童は81.0%、保護者は、82.1%であった。体育の授業や放課、児童会企画長縄大会など、外遊びの機会が充実していることを示している。また、記述欄には「長放課によく友達とドッジボールをしているようです。先日、先生も一緒に遊んでくれたと喜んでいました」「持久走大会を復活させてほしい」などの意見もあった。安全に体力向上に取り組めるような手だてを工夫し、児童の体力向上への意識をさらに高め、体力低下を防ぐ取組を工夫して進めていきたい。

- ⑥ 【児】体を動かすことやバランスのとれた食事をするなど、自分の健康に気をつけて生活していますか。  
 【保】お子さんは、体を動かすことやバランスのとれた食事をするなど、自分の健康に気をつけて生活していると思いますか。  
 【職】食に関する指導などを行い、児童の健康増進のために努めていますか。

6	A	B	C	D	E	
1年	55.9%	35.3%	2.9%	1.0%	4.9%	100.0%
2年	56.2%	28.9%	7.4%	1.7%	5.8%	100.0%
3年	48.1%	37.0%	6.5%	4.6%	3.7%	100.0%
4年	48.1%	40.7%	5.6%	1.9%	3.7%	100.0%
5年	39.7%	35.5%	15.7%	5.0%	4.1%	100.0%
6年	31.3%	44.4%	19.2%	3.0%	2.0%	100.0%
全体	46.7%	36.7%	9.6%	2.9%	4.1%	100.0%
保護者	28.0%	41.5%	22.9%	6.1%	1.5%	100.0%
職員	31.0%	69.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

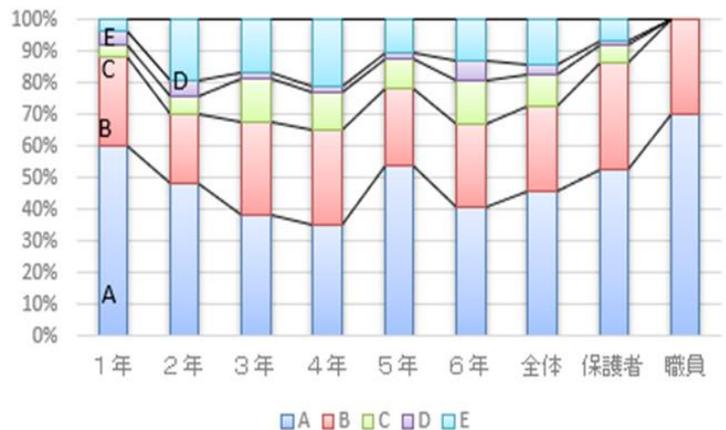


「児童の規則正しい生活習慣や健康面への意識」については、「できている」が、児童は83.4%、保護者は69.5%であった。教職員と児童及び保護者の捉え方に差があることから、さらに、家庭での生活習慣を意識させ、朝食の栄養が、午前中の学習活動に大きく影響することなどを示し、家庭と連携しながら健康面への意識を高めていきたい。

### 3 思いやりの心、豊かな心の育成 【協 同】

- ⑦ 【児】先生はあなたのよいところを認めていると思いますか。  
 【保】先生はお子さんのよいところを認めていると感じますか。  
 【職】児童一人一人のよいところを認める支援に努めていますか。

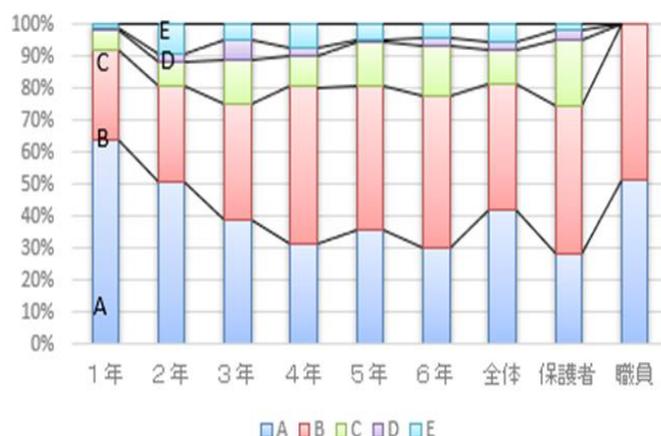
7	A	B	C	D	E	
1年	59.8%	28.4%	3.9%	3.9%	3.9%	100.0%
2年	47.9%	22.3%	5.8%	5.0%	19.0%	100.0%
3年	38.0%	29.6%	13.9%	1.9%	16.7%	100.0%
4年	35.2%	29.6%	12.0%	1.9%	21.3%	100.0%
5年	53.7%	24.8%	9.1%	1.7%	10.7%	100.0%
6年	40.4%	26.3%	14.1%	6.1%	13.1%	100.0%
全体	46.0%	26.7%	9.7%	3.3%	14.3%	100.0%
保護者	52.6%	34.1%	5.3%	1.3%	6.8%	100.0%
職員	70.3%	29.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「先生が、よいところを認めてくれる」と回答した児童は72.7%、保護者は86.7%であった。児童の14.3%が「わからない」と回答し、「認めてくれていないと感じていない児童」が13.0%いる。教師の意識としては、しっかりと認めていると感じているものの、子どもたちはもっと自分のよいところを見てほしい、認めてほしいと願っていることが分かる。子どものよいところを具体的にほめる指導、子ども一人一人を大切にしている指導を充実させるとともに、温かい学校づくり、学級づくりを進めていきたい。

⑧ 【児】 あいさつや返事、丁寧な言葉遣いができていますか。  
 【保】 あいさつや返事、丁寧な言葉遣いができるようになってきていると感じますか。  
 【職】 あいさつや返事、丁寧な言葉遣いができるように指導していますか。

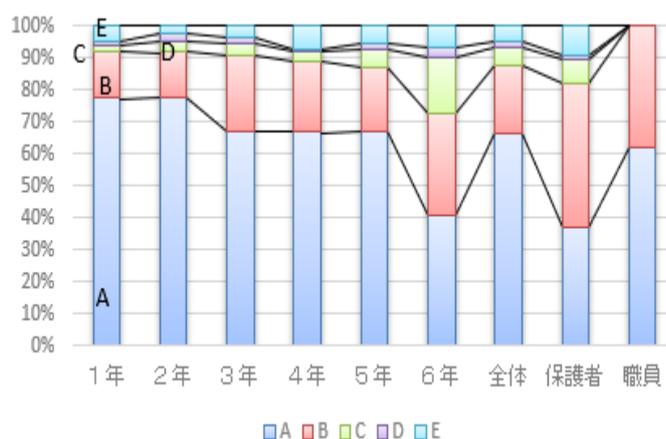
8	A	B	C	D	E	
1年	63.7%	28.4%	5.9%	1.0%	1.0%	100.0%
2年	50.4%	30.6%	7.4%	2.5%	9.1%	100.0%
3年	38.9%	36.1%	13.9%	6.5%	4.6%	100.0%
4年	31.5%	49.1%	9.3%	2.8%	7.4%	100.0%
5年	35.5%	45.5%	13.2%	0.8%	5.0%	100.0%
6年	30.3%	47.5%	15.2%	3.0%	4.0%	100.0%
全体	41.7%	39.5%	10.8%	2.7%	5.3%	100.0%
保護者	28.0%	46.5%	20.4%	3.5%	1.6%	100.0%
職員	51.4%	48.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「あいさつ、返事、丁寧な言葉遣い」については、児童は81.2%、保護者は74.5%であり、ほぼ昨年度と同じ結果であった。児童の数値が比較的高いのは、児童会主催の松組、竹組、梅組、桃組の縦割り対抗で行ったあいさつ運動などの成果であると考えられる。教職員の共通理解の下、あいさつや返事、丁寧な言葉遣いを重点課題として、教師による日々の声かけや、児童会活動のさらなる充実などとともに、地域の方のご協力もいただきながら、子どもたちの意識を高めていきたい。

⑨ 【児】 先生は、命の大切さや思いやりの大切さを教えてくれますか。  
 【保】 学校は、さまざまな教育活動を通して、命の大切さや思いやりの心を育てていると感じますか。  
 【職】 さまざまな教育活動を通して、命の大切さや思いやりの心を育てていますか。

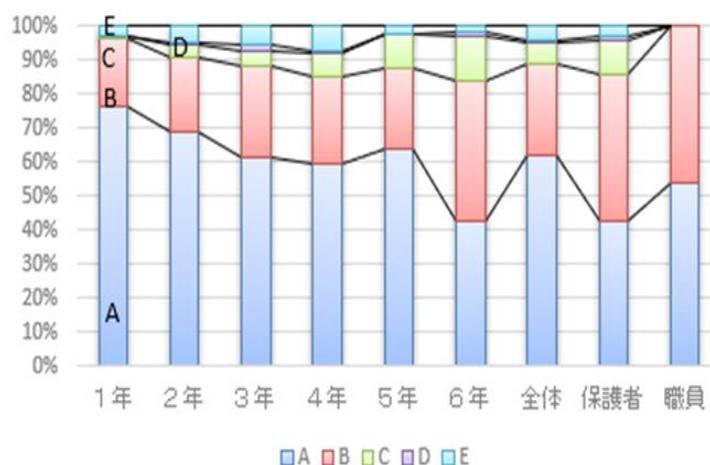
9	A	B	C	D	E	
1年	77.5%	14.7%	2.0%	1.0%	4.9%	100.0%
2年	77.7%	14.0%	3.3%	2.5%	2.5%	100.0%
3年	66.7%	24.1%	3.7%	1.9%	3.7%	100.0%
4年	66.7%	22.2%	2.8%	0.9%	7.4%	100.0%
5年	66.9%	19.8%	5.8%	1.7%	5.8%	100.0%
6年	40.4%	32.3%	17.2%	3.0%	7.1%	100.0%
全体	66.5%	20.9%	5.6%	1.8%	5.2%	100.0%
保護者	36.7%	45.0%	8.1%	0.8%	9.4%	100.0%
職員	62.2%	37.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「命の大切さや思いやりの心の育成」については、児童は87.4%、保護者は81.7%、教職員は100%が「できている」と答えている。道徳の授業を大切にする取組や、毎月の全校集会での講話、音楽集会やお茶会などを通して、児童の豊かな心の育成につながっていると思われる。記述欄には、「すべての子どもたちが、命の大切さを感じ、人を思いやる行動、言葉、温かいコミュニケーションがとれるよう、繰り返し伝えていきたい」と書かれていた。学校教育活動全体を通じて情操を豊かにする指導をさらに充実させ、粘り強く行っていきたい。

⑩ 【児】「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言ったり、友達と協力したりできていますか。  
 【保】お父さんは、周りの人に「ありがとう」を伝えていると思いますか。  
 【職】「ありがとう」の言葉あふれる、温かな学級づくりに努めていますか。

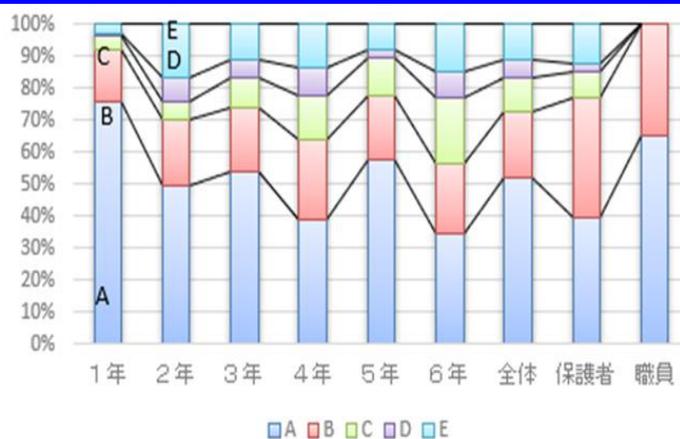
10	A	B	C	D	E	
1年	76.5%	19.6%	1.0%	0.0%	2.9%	100.0%
2年	68.6%	22.3%	3.3%	0.8%	5.0%	100.0%
3年	61.1%	26.9%	4.6%	1.9%	5.6%	100.0%
4年	59.3%	25.9%	6.5%	0.9%	7.4%	100.0%
5年	63.6%	24.0%	9.9%	0.0%	2.5%	100.0%
6年	42.4%	41.4%	13.1%	1.0%	2.0%	100.0%
全体	62.2%	26.4%	6.4%	0.8%	4.2%	100.0%
保護者	42.8%	42.7%	10.0%	1.6%	2.8%	100.0%
職員	54.1%	45.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「感謝の気持ちを素直に表す態度」については、「できている」と答えている児童は88.6%、保護者は85.5%、教職員は100%で、きちんと身に付いていると考える割合は非常に高い。「ありがとう」「ごめんなさい」といった集団生活で大切にすべき言葉を自然に口にする姿も多く見られる。仲間の気持ちを大切に、さらに「ありがとう」あふれる温かい学級となるよう、授業づくりの基盤となる学級づくりを進めていきたい。

⑪ 【児】困った時などに相談しやすい先生がいますか。  
 【保】児童や保護者の相談にのってくれる職員がいますか。  
 【職】児童や保護者の相談に親身になって取り組んでいますか。

11	A	B	C	D	E	
1年	75.5%	16.7%	3.9%	1.0%	2.9%	100.0%
2年	49.6%	20.7%	5.8%	7.4%	16.5%	100.0%
3年	53.7%	20.4%	9.3%	5.6%	11.1%	100.0%
4年	38.9%	25.0%	13.9%	8.3%	13.9%	100.0%
5年	57.9%	19.8%	11.6%	2.5%	8.3%	100.0%
6年	34.3%	22.2%	20.2%	8.1%	15.2%	100.0%
全体	51.7%	20.8%	10.6%	5.5%	11.4%	100.0%
保護者	39.2%	37.6%	8.6%	2.1%	12.5%	100.0%
職員	64.9%	35.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

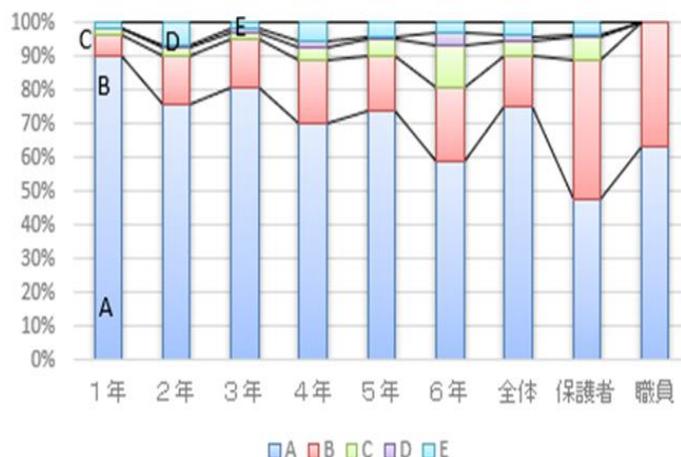


「相談にのってくれる先生がいる(相談に親身になって取り組んでいる)」と感じている児童は72.5%、保護者は76.8%であった。また、記述欄に「毎日忙しい日々の中、楽しい学校生活を送れるように見守っていただきありがとうございます。」「すべての項目に満点はないと思いますが、時間のない忙しい中、いろいろなことに配慮していただきありがとうございます。」などの意見があったのはとてもうれしいことである。普段から児童の様子を温かく見守り、こまめに声かけをしていること、「生活アンケート」を受けた相談活動を確実にやり、素早い対応をしてきたこと、毎学期面談週間を設定し、担任との面接を行ってきたことなどの成果であると言える。記述欄には、「子どもがアンケートに書いた内容について、丁寧に対応してくださった。不安なことを相談したときも、寄り添ってくださった先生に感謝している」とあった。一方で「相談しやすい先生がいない」と感じている児童が16.1%、保護者が10.7%いる。児童に寄り添った誠実な指導を心がけ、「困ったときにいつでも相談できる体制づくり」をさらに進めていきたい。

#### 4 安心安全な学校づくり・開かれた学校づくり 【自 重】

⑫ 【児】交通安全や不審者に気をつけて登下校していますか。  
 【保】学校は、交通安全、防災、防犯など児童の安全を守る活動に努力していると感じますか。  
 【職】交通安全や事故防止、防犯・防災の意識を高めるように指導していますか。

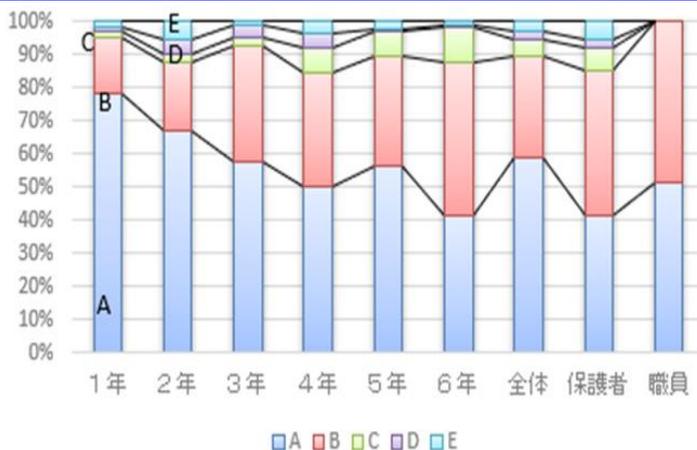
12	A	B	C	D	E	
1年	90.2%	5.9%	2.0%	0.0%	2.0%	100.0%
2年	76.0%	14.0%	2.5%	0.8%	6.6%	100.0%
3年	80.6%	14.8%	1.9%	0.9%	1.9%	100.0%
4年	70.4%	18.5%	3.7%	1.9%	5.6%	100.0%
5年	73.6%	16.5%	5.0%	0.8%	4.1%	100.0%
6年	58.6%	22.2%	12.1%	4.0%	3.0%	100.0%
全体	75.0%	15.3%	4.4%	1.4%	3.9%	100.0%
保護者	47.6%	41.4%	6.8%	0.8%	3.5%	100.0%
職員	63.3%	36.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「登下校の安全や防災・防犯への意識」については、児童は90.3%、保護者は88.0%、教職員は100%と、高い数値であった。毎週の一斉下校、長期休業前の安全指導などを始め、機会をとらえて「自分の命は自分で守る」を大切に、安全指導を継続してきた成果であると言える。「スクールガードさんの登下校の見守り指導や、時間変更対応連絡等でのきずなネットの配信、校門の施錠など、安心できます」などのご意見もあった。また、通学路の危険箇所に関する意見もあった。命に直結する項目であるので、100%に近づけるよう、さらに意識を高めていきたい。

⑬ 【児】そうじをみんなと協力してしっかりやっていますか。  
 【保】学校は、安全で清潔な学校生活を送れる学習環境となっていますか。  
 【職】清掃活動の充実、学校内外の安全点検や整備の充実が図られるように指導していますか。

13	A	B	C	D	E	
1年	78.4%	16.7%	2.0%	1.0%	2.0%	100.0%
2年	66.9%	20.7%	2.5%	4.1%	5.8%	100.0%
3年	57.4%	35.2%	2.8%	3.7%	0.9%	100.0%
4年	50.0%	34.3%	7.4%	4.6%	3.7%	100.0%
5年	56.2%	33.1%	7.4%	0.8%	2.5%	100.0%
6年	41.4%	46.5%	10.1%	1.0%	1.0%	100.0%
全体	58.6%	30.8%	5.3%	2.6%	2.7%	100.0%
保護者	41.5%	43.7%	7.1%	2.0%	5.8%	100.0%
職員	51.6%	48.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「施設管理・安全への配慮」については、児童は89.4%、保護者は85.2%、教職員は100%と高い数値で、学校が施設管理をきちんとし、安全への配慮をしていると考えている。今後も、子どもたちが安心、安全で清潔な学校生活を送れるようにしていきたい。

〈文責：教頭 関山 智子〉